

令和3年度 けが・病気の状況

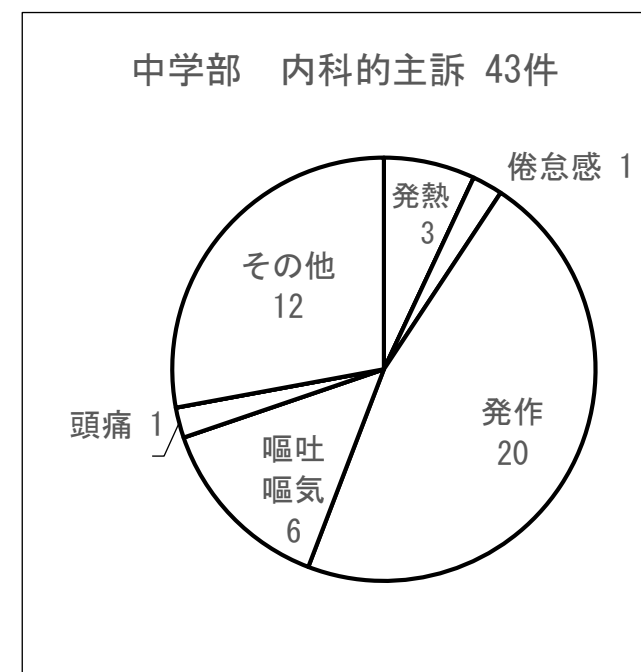
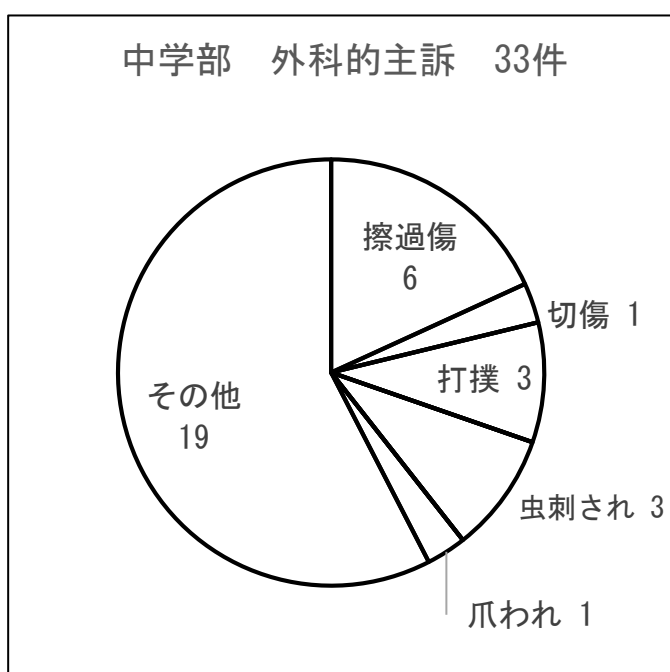
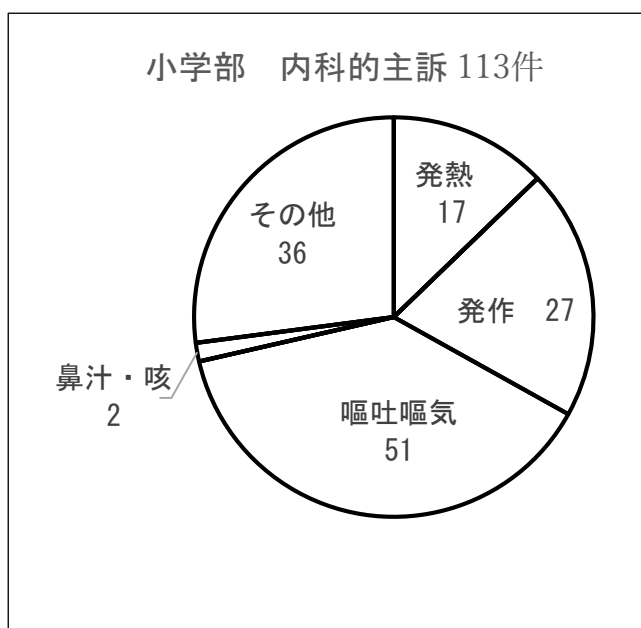
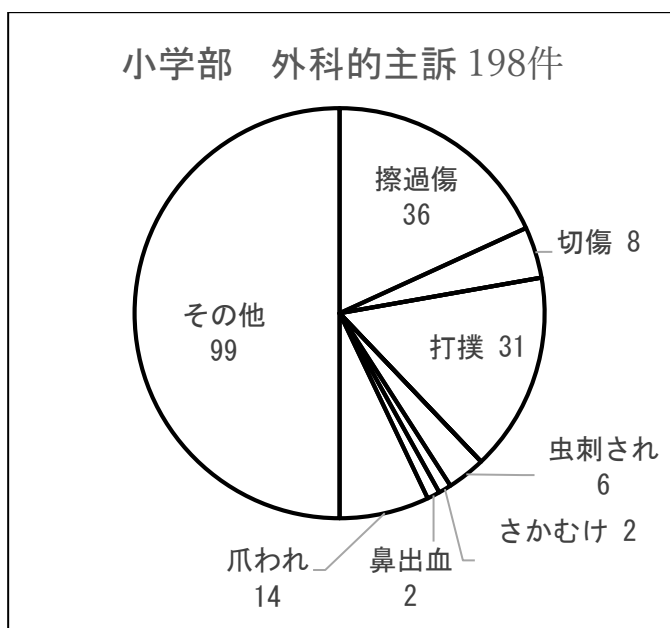
大阪府立茨木支援学校 保健室
(令和3年4月～令和4年1月)

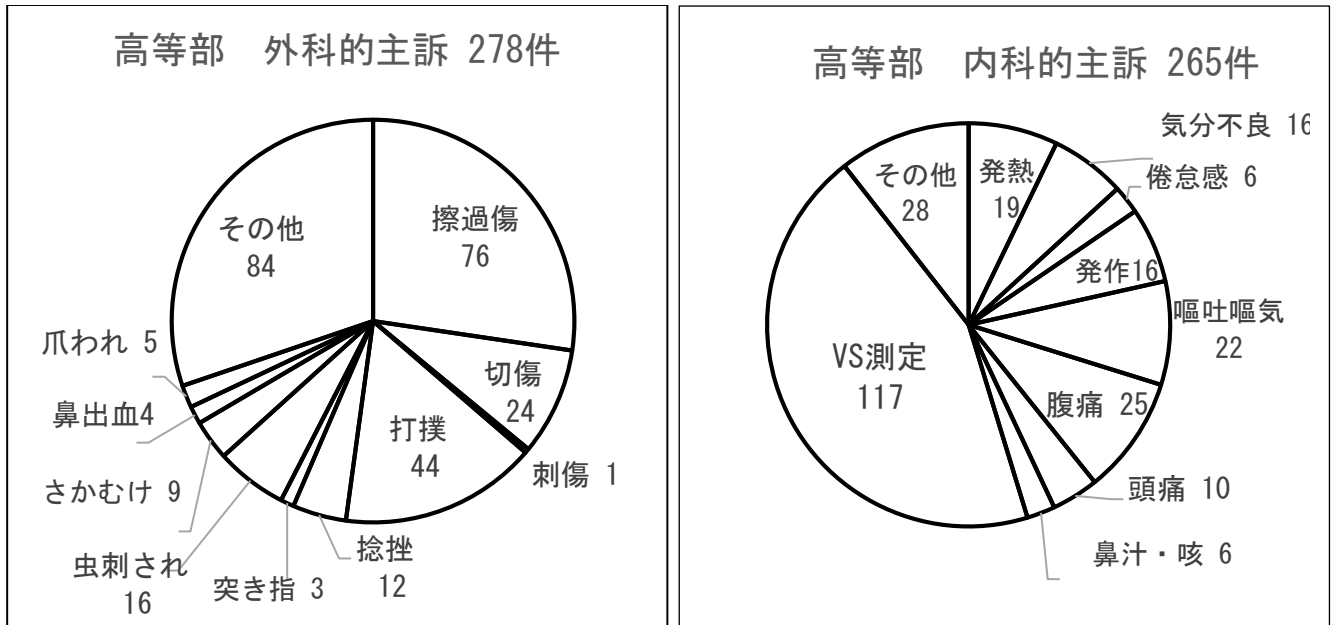
表1 保健室利用件数

	R3年度	R2年度	H31年度
外科的主訴	590	475	382
内科的主訴	441	467	276
総利用数	950	942	658
ベッド利用件数	60	139	117

1. 保健室の利用状況

今年度の4月～1月の保健室利用件数は950件(表1)であった。





(1) 外科的主訴について

外科的主訴として、全学部で擦過傷、打撲、虫刺されが多かった。その他の内容については皮膚の発赤、発疹、口腔内の出血、眼の充血など様々であったが、軽微なものがほとんどであった。

高等部生活課程では運動中の打撲、捻挫が多かった。

(2) 内科的主訴について

昨年度に比べて発熱での来室者が全学部で減っていた。新型コロナウイルス感染症予防のため登校自体を控えたり、症状がある場合は家庭で早めに休養する機会が多かったことが背景にあると推測する。

その他の内容については、SpO2 値低下、顔色不良、熱感、悪寒、異物の誤食などがあつた。異物の誤食については、小学部 1 件、高等部 2 件で、消化器症状など出現することなく、経過観察で帰宅している。

(3) 緊急時に使用する薬の使用について

今年度、校内で緊急時に使用した薬（坐薬）は 2 件であり、中学部 1 件、高等部 1 件であった。1 件は救急搬送した後に帰宅、もう 1 件は保護者迎いで帰宅し、自宅にて経過観察で過ごした。

2. 災害発生の状況

表 2 災害発生の状況

	外科・内科	発生月	学部	傷病名	時間	場所
1	外科	4月	小学部	頭部打撲	授業中	教室
2	外科	4月	高等部	鼻骨骨折	授業中	体育館
3	外科	4月	高等部	右膝蓋骨脱臼	休憩時間	廊下
4	外科	4月	小学部	頭部打撲	休憩時間	教室
5	外科	5月	高等部	距骨骨折	授業中	体育館
6	外科	5月	高等部	右足捻挫	昼休み中	運動場
7	外科	7月	高等部	頭部打撲	授業中	教室
8	外科	7月	高等部	右足首捻挫	昼休み中	体育館

9	内科	10月	中学部	SpO2値低下	授業中	教室
10	外科	10月	高等部	鼻打撲	休憩時間	教室
11	内科	10月	高等部	発作	授業中	教室
12	外科	10月	高等部	左足骨折、右足捻挫	授業中	自立活動室
13	内科	10月	中学部	SpO2値低下	授業中	教室
14	外科	10月	小学部	眼瞼炎、角膜びらん	休憩時間	教室
15	外科	11月	小学部	頭部打撲	授業中	下足ホール
16	外科	12月	高等部	左手親指 捻挫	授業中	体育館

災害発生の状況は（表 2）の通りである。今年度の災害発生件数は 1 月末時点で 16 件（昨年度 6 件）あり、学部別の内訳は小学部 4 件、中学部 2 件、高等部 10 件であった。

内科的な理由で病院受診したのは 3 件で、救急車で病院へ搬送した。外科的な理由で病院受診したのは 13 件で、内 1 件は救急車で病院受診、内 6 件はタクシーで病院受診、内 6 件は帰宅後に病院受診した。

3. 病気による欠席や入院の状況

（1）欠席の状況

月別一日平均欠席者数の動向は（図 1）（図 2）の通りである。【小学部 44 名、中学部 25 名、高等部 160 名】カゼ欠席者は例年インフルエンザが流行する時期にカゼ欠席者が多くなる傾向にあるが、今年はインフルエンザの発生報告はなく、カゼとして報告が挙がってきた欠席者もごくわずかな人数であった。（実際には発熱等の不調は病欠に含まれている。）

図 1 病欠による欠席者の月別一日平均

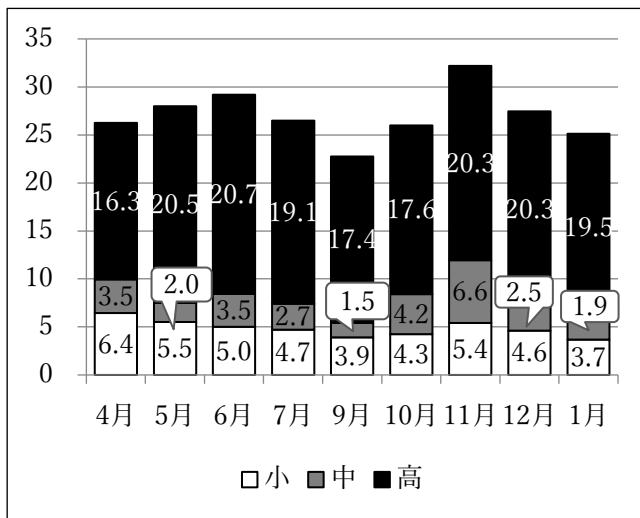
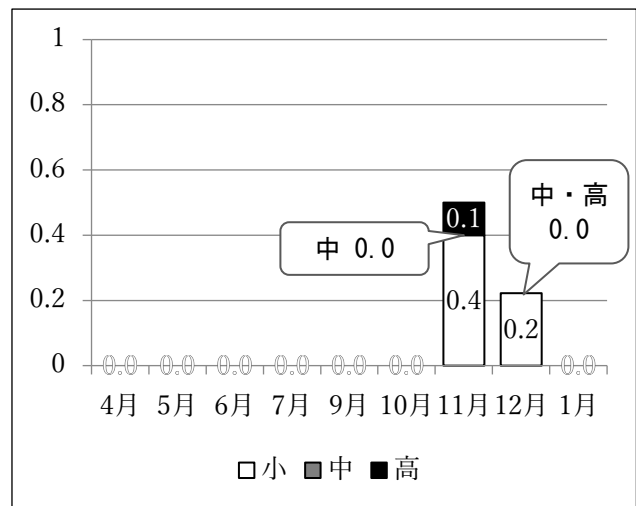


図 2 カゼによる欠席者の月別一日平均



4. その他

感染症について

- 感染性胃腸炎（1 名）…自宅で休養した後に登校再開したため、校内における感染拡大はなかった。
- 新型コロナウイルス感染症…オミクロン株が流行した時期に複数名の PCR 検査における陽性者が確認されたため、大阪府教育庁保健体育課の指導の下、学級閉鎖等の措置を行った。